

経済観光局

山本 のりかず

北区

農村ツーリズムについて

山本 農村ツーリズムは、農村地域の活性化において重要な取り組みです。神戸では、都心と農村地域が近接し、農村ツーリズムの展開に優位性があり、今後どのような取り組みを考えているのか確認します。



港湾局▶神戸市内の農村地域において、古民家カフェなどは規制緩和を活用した起業者の育成によって新たなコンテンツの造成がなされ、農泊、民泊の取り組みもされているところがございます。例えば農泊施設などを組み込んだ体験ツアーや周遊コースなどの商品の造成なども想定してございます。観光部門と連携しながら、引き続き発信の強化・魅力の強化を含めて、実施してまいりたいと考えてございます。

建設局

高橋 としえ

西区

浸水対策について

高橋 神戸市は準用・普通河川を管理しています。災害対策、有害鳥獣被害対策を目的として経済観光局と連携の上、河川の加深頻度を上げるなどの取り組みが必要ではないでしょうか？



建設局▶有害鳥獣対策として効果がある箇所把握に努めて、河川管理の一環として必要な浚渫や草刈りの対応を講じてまいりたい。

高橋 近年、線状降水帯やゲリラ豪雨の発生が増加しており、内水氾濫の対策の重要性が高まっています。地区別浸水対策の進捗はいかがですか？

建設局▶浸水リスクが高い順に地区1.地区2.地区3と3つに分類して地区1から順に段階的な浸水解消をやっていこうと目標を定めています。現在整備を行っている西区西河原地区、東灘区の国道43号周辺の地盤が低い地域については、継続して事業に取り組みます。

文化スポーツ局

さとう まちこ

垂水区

神戸まつりについて

さとう 神戸まつりにおいて、2025年の大阪万博に向け、2024年を皮切りに、神戸まつりのパレードにコスプレヤーを呼ぶなど、アニメ・コスプレという新しいジャンルを取り入れ、若者や海外の方を呼び寄せるきっかけとしてはどうでしょうか。滞在型の神戸まつりということで、初日は神戸まつりを楽しんでいただき、内閣府も推進しているアニメツーリズムができる企画を用意し、神戸市民も神戸の新しい魅力に気付ける発信をしていただけないでしょうか。



文化スポーツ局▶市民の方々が知る機会にもなるというのは同感。そのような広報面での連携をしていくのは、ありだと考えています。

要望 公民館の活用、オンラインマラソンの継続を提案しました。

福祉局

住本 かずのり

須磨区

KOBEシニア元気ポイントの更なる取り組み

住本 高齢者の外出機会の増加や社会参加の促進という点で「KOBEシニア元気ポイント」はフレイル予防に繋がる重要な取り組みです。現在の登録者数は2,046人であり、まだまだ少ない。登録者数や活動者数を増やすため、事業認知、活動場所や種類などの選択肢を増やすことが重要だと考えますが、今後の取り組み方針を伺います。



福祉局▶現在は庁内の連携-建設局、環境局、文化スポーツ局、区役所等-と、民間とも連携しながら活動の場所、選択肢を増やして事業の魅力アップの取り組みを進めています。今後も登録者数を増やす努力をしていきたい。

令和4年度決算特別委員会

局別審査

所属議員が各担当部局に分かれて 令和4年度決算について質疑しました。

市政へのご意見・ご相談は
各区所属議員に
お問い合わせください。



お問い合わせはこちら



港湾局

黒田 武志

西区

神戸空港の国際化に向けて

黒田 2025年に国際化を迎える神戸空港については、空港機能の強化だけではなく、神戸ブランドの発信やにぎわい機能など、神戸の空の玄関口としてふさわしい魅力ある空港づくりが求められる。新ターミナルと共に、現行ターミナルについても、神戸空港の積極的な活用や神戸経済・神戸市民への還元について、関西エアポート神戸に対し、強く働きかけを行っていただきたい。



港湾局▶神戸空港のモニタリングを実施し、改善に向けた取り組みを現在、検討している。空港に行けばわくわく感や、特別感を感じていただけるよう空港の機能強化と合わせ、ブランドの発信や、にぎわい機能など魅力ある空港となるように関西エアポート神戸と連携しながら取り組みを進めてまいりたい。

地域協働局

ながさわ 淳一

長田区

地域の担い手について要望

ながさわ 地域のつながりというのは、いざというときの地域の安全・安心にもつながりますし、安全・安心な地域というのは、まちの魅力アップにもつながります。近年、地域のつながりの希薄化が顕在化しつつある中で、改めて行政と地域と一緒に、地域のつながりを育むことができる仕組みづくりを、これまで以上に力強く進めていただきたい。お祭りは地域の絆や連帯感を高めることができ、準備や運営に関わることで、地域の人々はコミュニケーションを取り、信頼関係を築くことができます。地域のつながりが希薄になる中で、非常に有効だと考えますので、今後も支援のほどよろしくお願いたします。



危機管理室

のまち 圭一

中央区

サイバーセキュリティについて

のまち 今年度はセキュリティ専門事業者により各システムネットワークの脆弱性の診断や共有のリスクガイドラインの作成などに取り組み、必要な対策を講じていくとのことだが、現在の対策の進捗状況について伺います。



危機管理室▶病院、水道、交通などの重要なインフラに対するサイバー攻撃対策が進行中、神大大学院教授にアドバイザー協力を受け、市民生活に高い影響を及ぼす10の重要システムを選定し、専門の業者に脆弱性評価を行っています。これに基づいて、重要インフラのリスク評価基準、BCP策定手順書、職員向け訓練計画などの作成が計画されており、各所管局室や外郭団体ではリスク評価を受け、システムの点検と必要な対策を講じる予定です。また必要に応じてBCPの改定も行う予定です。

交通局

外海 開三

東灘区

市バスの運行について

外海 市バス事業はコロナによる利用者数の減少や、今後も少子化により減少傾向にあることや、燃料費等の所要経費高騰の影響を大きく受けるなど、極めて深刻な状況であり減便や廃止も決定している。交通局の厳しい経営状況、とりわけ市バス会計は危機的状況にあり、利用者数に応じたダイヤ編成を行い更なる効率化を図るべきです。



交通局▶ご指摘のとおりであり、我々は今2タッチデータを日々積み重ねています。日々の利用状況を見ながら、お客様の声、あるいは地域からの要望というものを勘案し、必要であればダイヤを変更することも含めて、もっと効率的に、より便利に利用いただけるような運営に取り組んでまいりたい。

教育委員会

岩谷 しげなり

兵庫区

神戸の教育ビジョンについて

岩谷 子育て世代に、神戸市がどのような方針の下、教育施策に取り組んでいるのかあまり伝わっていません。さいたま市の英語教育は、全国の中で群を抜いて成果が表れています。また芦屋市は、東大大学院と連携して教育改革を行っていくと発表し大きく注目されています。「神戸の教育はこれだ!」と言えるような、他の自治体に負けない誇れる魅力をブランディングしていく必要があると考えますが、見解を伺います。



教育委員会▶神戸市教育振興計画は、市民の皆様にとって、若干目指す方向が分かりにくいということになっている面もあるのではないかと考えています。他都市の事例も参考にしながら、神戸の教育が目指す方向性を分かりやすくお示しをし、市内外に発信できるようにしていきたい。

都市局

川口 まさる

灘区

三宮の再整備について

川口 三宮の6つの駅は、改札が地下、地上、デッキの3層にそれぞれ分かれており、複雑な構造となっているせいか、駅と駅との距離が遠いように感じます。広場から地下鉄への通路が新設されることにより、さんちか内の動線は一定改善されると思いますが、再整備を機に6つの駅それぞれの間についてもよりスムーズに移動できるように考えてほしいと思います。



都市局▶JR新駅ビルと一体となるよう周辺の歩行者動線のネットワークを確保します。また、適切な場所にエレベーター・エスカレーターを整備しバリアフリー化も実現します。デッキもこれから工事を進めていきたいと思っています。官民連携でご指摘の乗換え動線の改善、よりスムーズに三宮駅周辺を回遊していただけるような動線の強化に、取り組みたいと思っています。

子ども家庭局

三木 しんじろう

中央区

子ども達目線の学童保育について

三木 神戸市では多くの児童館で学童保育が行われています。学童保育を学校内で行い、運動場や体育館も利用し、体を動かし伸び伸びと実施していただきたいが今後の展開は？



子ども家庭局▶ご指摘のとおり、学校内で実施することは移動がなく安全であり、運動場、体育館等、学校施設が利用できるメリットがある、学校施設の利用を進めていきたいと考えています。

三木 保護者のニーズ・地域のニーズに合わせ、分かりやすく保護者へ周知を行い、教育委員会と更なる連携をしていただきたいが見解を伺います。

子ども家庭局▶それぞれの事業や利用している子ども達の声などを届けるよう周知に努め、教育委員会としっかりと連携し、放課後が子ども達にとって豊かな時間になるように、しっかりと取り組んでいきたい。

健康局

なんの ゆうこ

東灘区

女性のがん検診の受診率向上について

なんの 現在、労働人口の約4割を女性が占めており、企業における健康支援や健康管理の視点から、女性特ながん検診の実施は重要ではないか。神戸市はどのような取り組みを行っているのでしょうか？



健康局▶職域でのがん検診の取り組みについて対策が必要です。がん検診の普及啓発に積極的に取り組む企業や団体と、受診促進協定を締結しており、従業員に対するがん検診の受診勧奨や、リーフレットの配付等、受診を促す取り組みを積極的に行うよう働きかけています。

女性がセルフケアを行いつつ仕事に向き合える体制が必要です。神戸市としても職域における女性の健康支援について、企業と連携を図り取り組んでまいりたい。